

開催日時	令和元年 8 月 7 (水)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (○)	担当副会長兼委員長：○山口英生 委 員：○寺本勉 ○有泉絵美 ○長友寛昌 ○菅股篤 ×横山尊重 ○青木一高 事 務 局：○小林恵美		

山口担当副会長兼委員長より挨拶

議題

1. 青年部会運営委員会の運営・すすめ方

- ・機構図より委員会組織について説明があり、青年部会運営委員会の役割等の説明があった。
- ・7 月 12 日に開催された合同役員会に提出した「委員会活動方針」を基に、今後の活動の方向性が示された。

《委員会活動方針 抜粋》

- ・①～③の方が自動入会の部会員となります。
 - ①50 歳未満の正会員とその所員
 - ②50 歳未満の賛助会員とその社員
 - ③(特別会員) 新規入会者・入会予定者(トライアルメンバー)
- ・運営委員会においては、新たな組織構成に照らしながら、青年部会が何のために存在し、何を具体的な目標として定め、どのようにそこへ歩を進めていくか、改めて考えるところから始めます。
- ・以下①～③に留意してすすめて参りたいと考えています。
 - ①青年部会員が、建築士事務所や企業・組織を担っていくうえで必要な、人間力・職業倫理を向上していく取組みや社会貢献活動を、多様な人間で共に行っていく。
 - ②時代の趨勢を的確に分析し、青年部会員が必要とするであろう新たな社会的知識や、建築以外の新しい大衆文化を掘り下げ、広範化していくであろう業務に取り込んでいけるよう、部会員に多様な機会を作っていく。
 - ③青年部会員が将来の文化文明の担い手として社会的・国家的・国際的責務を果たしていけるよう、世代・性別・人種などにとらわれない多様な交流を積極的に図っていく。
(例えば、各国青年会員とのネットワーク構築・交流を図る、など) 特にアジア人との交流。

2. 委員会規程の設置について

- (案) を山口副会長が作成し、各委員にメールで送付し確認・意見を出し合う事となった。
 9 月 5 日総財務委員会提出、9 月 19 日理事会に諮る。
 作成にあたっては下記の意見が出た。
- ・運営委員の年齢は部会員と同じとした方がよい。
 - ・ブロック推薦だけではなく、やりたい人が運営委員になってもよい。

3. 2019 年度予算について

- 青年部会運営委員会の予算を作成し、理事会に諮る事となった。
 (案) を山口副会長が作成し、各委員にメールで送付し確認・意見を出し合う事となった。
 9 月 5 日総財務委員会提出、9 月 19 日理事会に諮る。
 作成にあたっては下記の意見が出た。
- ・基本的に移動委員会とする。
 - ・日事連『話創会』の補助金を計上する。
 - ・今年度は結果を出す段階ではなく、体制作りの年となるため無理に事業は行わなくてもよい。

4. 「青年話創会 2019 福島大会」について

- ・山口副会長、横山委員、菅股委員の 3 名が参加する事となった。
- ・日事連より提出を求められている、「活動報告書」作成については、森安前委員長に依頼する事となった。(山口副会長より依頼、データを事務局より送付する)

5. 部会員（50歳未満全員加入）の抽出・把握方法について
現在、指定代表者の部会員が153名となっている。
指定代表者以外の所員及び賛助会員の部会員の抽出・把握方法については、今後検討する事となった。
6. 今後の委員会活動について
下記の意見が出た。今後も意見を出し合い、検討する事となった。
- ・三会（建築家協会・建築士会）青年委員会で意見交換会。
 - ・ワンコインライダーナイト（各ブロック等）を定期的を開催する。
 - ・移動委員会等では、そのブロックの部会員に声掛けをする。
 - ・青年同志の繋がりも大事だが、世代間交流も大事。
 - ・不動産・施工業者・ハウスメーカーの方との意見交換。
 - ・引退する事務所から若手（青年）にノウハウの継承。
 - ・11月1日・2日に開催される賛助会フェアへの協力。

次回委員会 令和元年9月25日（水）15：00～ 神事協会議室

以上

開催日時	令和元年 9 月 25 日 (水)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (○)	担当副会長：○山口英生 委員長：○有泉絵美 副委員長：○菅股篤 ○横山尊重 ○青木一高 委員：○寺本勉 ×長友寛昌 事務局：○小林恵美		

山口担当副会長より挨拶

9 月 19 日の理事会に提出した、『委員会規程』及び『2019 年度予算』が承認されたとの報告があった。

1. 委員長・副委員長の選任

委員長に有泉委員、副委員長に菅股委員・横山委員・青木委員が委員の互選によって決まった。

2. 委員会規程の設置について

- ・委員会の事業に、『青年部会員の健全な経営と業務のサポート』を入れた事が従来の委員会との違い。
- ・オブザーバー参加を認める事となっているので、要所には参加してもらう事とする。

3. 2019 年度予算について

- ・事業は、『ティーティーティー』25 名×4 回 (対象：青年・所員) 『ワンコイナイト』25 名×1 回 (対象：経営者) を行う。
- ・建築士事務所全国大会 青年話創会出席者への補助金 (宿泊費・交通費) は、10,000 円×3 名。

4. 令和 2 年度予算について

- ・白井会長からの『令和 2 年度予算方針について』が示された。
- ・委員会予算提出の締切は 11 月 25 日となる。
- ・神事協 HP に青年部会の頁を作成・運営の予算要求をする。

5. 『青年話創会 2019 福島大会』について

- ・神奈川活動報告として、森安前委員長 (青年交流専門委員会) に作成いただき、提出したとの報告があった。
- ・神奈川会からは、山口副会長・菅股副委員長・横山副委員長が出席する。

6. 委員会活動について

①組立について (流れ)

ワンコイナイト (問題提起) → ティーティーティー → 同好会・専門委員会

②今後のワンコイナイト・ティーティーティーのテーマについて、下記の意見が出た。

- ・ブログ・サイトをどう使いますか
- ・事務所の作り方 (ビジネスモデル)
- ・自分なりのビジネススキル
- ・生涯建築で食べていくには
- ・BIM についてディベート (実際どうなの?)
- ・BIM とガラパゴスを考える
- ・『子育てしやすい・・・』『子どもと親に嬉しい空間』(横浜市立大学 三輪先生)

③『経営と業務のサポート』について

- ・引退する事務所から若手 (青年) にノウハウの継承。(東京会は既に出てきている)
- ・海外にも目を向ける意識付け。(海外事業を展開している方から話しを聞く機会を作る)

④活動内容発信について

- ・神事協瓦版 10 月号に『青年部会とは?』を山口副会長が寄稿している。第二巻に続くとしているので、委員会内で内容を検討していく事となった。

7. ワンコインナイト開催について

- ・テーマ : サイト作成 Web について (作り方活かし方)
- ・開催日時 : (仮) 11月29日(金) 18:00 ~ 21:00
- ・開催場所 : (第一候補) ジャズカフェ ギグ ※他にも調べる
- ・参加費 : 500円+ドリンク別
- ・フライヤー : たたき台を菅股副委員長が作成 (次回委員会)

8. 賛助会フェア&セミナーについて (11月1日・2日開催)

- ・ワンコインナイトの周知活動を行う事となった。(有泉委員長・横山副委員長)

9. 会誌「日事連」令和2年1月号特集『今年の抱負』寄稿について

- ・青年部会運営委員会として寄稿する事となった。
- ・活動の様子 (ワンコインナイト・ティーティーティー) の URL を掲載する。
- ・たたき台を有泉委員長が作成する事となった (次回委員会)。

10. 次回委員会について

- ・10月24日(木) 15:00 ~ (神事協会議室)
- ・(仮) 11月29日に開催するワンコインナイト『サイト作成 Web について』において、委員も答えられるように、寺本委員よりレクチャーを受ける。
- ・各自、パソコンを持参する。

以上

開催日時	令和元年 10 月 24 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (○)	担当副会長・委員長：○山口英生 委員長代行：○有泉絵美 副委員長：○菅股篤 ○横山尊重 ○青木一高 委 員 員：○寺本勉 ○長友寛昌 事 務 局：○小林恵美		

議題

1. 『サイト作成 Web について』 寺本委員よりレクチャー
2. ワンコインナイト開催について
 - 1) 日時：12 月 7 日 (土) 15:00~18:00 (受付 14:30~)
 - 2) 場所：Haight Ashbury (ハイトアシュベリー) 横浜市中区相生町 2-52
 - 3) 会費：500 円 (ワンドリンク付) ※当日徴収
 - 4) テーマ：『建築士事務所の Web ツール』
 - ・事務所の作り方 (ビジネスモデル)
 - 5) フライヤー：たたき台を基に出た意見を反映させる事となった。(担当：菅股副委員長)
 - 6) 募集方法について：
 - Web 上で参加者を募る。(ポチッ)
 - メーリングする際に、所員の方にも転送してくださいとアナウンスする。
 - 申込の際の情報は、氏名とメールアドレスとする。
 - 7) 運営：受付で食前酒と簡単なおつまみ (柿の種) を渡す。
 受付時にアンケートサイトの QR コードを記載した名刺サイズ用紙を渡す。
 プロジェクターを用意し、スクリーン (山口副会長) は配置可能か店と確認する。
 スクリーンに主旨を流す。
 店への予約は有泉委員長代行が行う。
 - 8) アンケートについて：
 - 下記の項目とする (10 分で答えられる内容にする)
 - ・参加を決めた理由
 - ・どこで知ったのか
 - ・参加しやすい曜日・時間帯
 - ・次回以降にやってほしいテーマ
 - ・自由に記載してもらおう欄
 - 9) タイムスケジュール：
 - 15:00 主催者挨拶 (開催の主旨)
 - 18:10 本日のお題について「サイト作成 Web について (作り方活かし方)」
 - 18:15 前半プログラム
 - ・最近のサイトの使い方、SNS、WP、instagram、FB、NOTE など
 - 19:15 休憩 ラウンジワンドリンクタイム (名刺交換なども)
 - 19:35 後半プログラム 1
 - ・サイトで営業することについて、事例など (目的はカタログ、集客?)
 - 20:00 後半プログラム 2
 - ・トークセッション
 - 20:50 主催者挨拶 (閉会、次回インフォメーション)
3. 会誌「日事連」令和 2 年 1 月号特集『今年の抱負』寄稿について (11/8 〆切)
 有泉委員長代行作成の原稿に委員が意見を出し反映させる事とした。
4. 神事協「瓦版」寄稿について
 委員がリレー方式で寄稿する事となった。

5. 令和2年度予算について

予算（案）を山口副会長が作成し、メール配信し委員で確認する事となった。

次回委員会 令和元年12月7日（土）13:00～14:30 バンクアウト（馬車道）

14:30～ ワンコインナイト受付

15:00～ ワンコインナイト

18:30～ 忘年会（打ち上げ） 生香園（担当 寺本委員）

以上

開催日時	令和元年 12 月 6 日 (金)	会 場	Haight Ashbury (ヘイトアッシュベリー)
出席者 (○)	担当副会長・委員長：○山口英生 委員長代行：○有泉絵美 副委員長：○菅股篤 ○横山尊重 ○青木一高 委 員：○寺本勉 ○長友寛昌		

議題

1. 12/21 開催 ワンコインナイト開催について

1) 事前準備

- ・メニュー表 (作成：長友委員)
 <食事> アンチョビポテト、フライドチキンカップ、
 前菜カップ(チーズ、オリーブ、ピクルス)、野菜スティック
 <飲み物> ビール、ハイボール、ワイン(赤、白)、スパークリング
 オレンジジュース、アップルジュース、ウーロン茶
- ・注文票 (作成：長友委員)
 リストが記載され、正の字でカウント
- ・小銭 (担当：青木副委員長)
- ・参加者リスト (担当：横山副委員長)
- ・プロジェクター：山口副会長が前日、事務局から借りる
- ・スクリーン：山口副会長の事務所から持参
- ・500 円の領収書：事務局にて作成→山口副会長が前日に受け取る
- ・OCN シール(名前シール) (作成：菅股副委員長)
 印刷は、事務局。山口副会長が前日に事務局から受け取る
- ・Thanks Card (担当：菅股副委員長)
 このカードには、アンケートへの QR コードを載せる
 最初のドリンクオーダーがわかるようなデザイン
 印刷は、事務局。山口副会長が前日に事務局から受け取る
- ・看板 (担当：菅股副委員長)
- ・アンケートホーム (作成：寺本委員)

- 2) 青年部会運営委員会予算で購入するもの (有泉委員長代行がアマゾンで購入)
- パンチ
 - マルチ用紙(エーワン 名刺 マルチカード):事務局に届く
 - ラベルシール(エーワン ラベルシール):事務局に届く

3) 当日の担当

- 受付:有泉委員長代行
- ドリンクチェック:長友委員
- 講師:寺本委員
- 案内:菅股副委員長、青木副委員長
- 会場:横山副委員長
- 挨拶:有泉委員長代行
- ※各テーブルに委員はスタンバイ

2. その他

次回の瓦版担当は、菅股副委員長に決まった。

以上

開催日時	令和 2 年 8 月 4 日 (火) 16:00~	会場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長・委員長：○山口英生 委員長代行：○有泉絵美 副委員長：○菅股篤 ○横山尊重 ○青木一高 委員：○寺本勉 ×長友寛昌 事務局：○小山菜摘		

議題

1. DXWG において各委員会での宿題

「会員各自で何がしたいか・するべきか」

- ・ 事務所協会弱体化＝行政に対し建築士事務所の発言力が弱体化の恐れ
- ・ 東京会は動画配信を始めている。日事連広報も Web 化の動き。
経済界、組織全体に DX の流れがどっときた
- ・ 青年部会は世代的に小さいお子様をもつ方もおり、リアル委員会として参集するのは難しい。
まずは Web 会議で生の声を洗い出す。

<近況報告> コロナで変わったこと、時間の使い方

- ・ 行政の許認可が遅くなった (1/2~1/3 の稼働率、2 週間で済むのが倍以上かかる)
- ・ Web 会議のストレス (お客様に対して提案が縮こまる等)
- ・ 参集しての会議がなくなって効率が良い
- ・ 行政の在宅勤務導入が早かった。絶対対面だったのが郵送も受け入れてくれるようになった
- ・ 地域によっては、コロナに対する緊張感に差がある
- ・ 民間や特養など、業務の領域によってコロナの影響が異なる (特養担当は個室など、コロナ対策が増える)
- ・ 役所はスローペースだが、お客様は急いでいる・もしくは変わらない。
- ・ 持続化給付金の申請などはオンラインで済み、ノーリアルだった。
- ・ 遠方のお客様とは元々クラウド上でやりとりしており、Web 会議などに対し抵抗が少ない
- ・

⇒青年部会の委員はあまり不具合を感じず、大きく変化した人は少ない。

⇒DX は楽だけど淡泊な気がする。青年としては温かみのある人らしさがでる DX を提案する？

<DX について>

- ・ DX はあくまでも手段。目的がないと、方法論ばかりになってしまう恐れがある。
- ・ イベントはできないと思っていたが、やり方を考えればあり？
- ・ TTT 保育園の件はコミュニケーションを図り、web 配信、リアルのどちらも使うべき (委員だけは先生のところへ行き、参加者は web 会議など)
ただ、保育園ということで、コロナ禍では対面は難しいかもしれない。
- ・ リモートでのプレゼンスキルアップなどは取り組んでみたい。
- ・ 指導/業務委員会は目的があってやってきているので、コンテンツがありそう。
そういった委員会から DX をどんどん進めていったらいいのでは？
- ・ DX を活用できる場所はしよう！が本筋だと思う。使い方を考える。
- ・ 面白いことをやれば青年は集まるはず。その手段として DX を使うべき。
- ・ バズりをねらう (カンフル剤を打つ) ではなく、支部・委員会活動の充実も大事

2. その他

- ・ 次回委員会日程は、Web 会議で 10 月中旬を予定。(日程調整は 9 月中旬ごろに行う)

- ・ 委員会前半で TTT 講師をお呼びし、開催方法やコロナ時代への考え方も議論したい。
(講師との調整は有泉委員長代理が行う予定)

以上

開催日時	令和 2 年 11 月 10 日 (火) 17:30~19:30	会場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長・委員長：○山口英生 委員長代行：○有泉絵美 副委員長：○菅股篤 ○横山尊重 ○青木一高 委員：×寺本勉 ○長友寛昌		

議題

1. 山口委員長より、理事会等での内容報告
 - ・ 賛助会とコラボレーションなども考えたい
賛助会も焦っている部分がある。積極的に動かないと存在感が薄れていってしまう危機感。
 - ・ 入会者が激減したわけではないが、廃業などもじわじわ増えている。

2. DX の進捗について
 - ・ 会報・課金システム・ツイッター
会議等細かく開催していても、リアル開催がないため活動内容が伝わりにくい。
→「DX」などカタカナを避ける動きに。
一気に変えるのではなく、徐々に進めていく (例：講習申込方法について、FAX と並行して、課金システムを導入)。
 - ・ ツイッターで情報発信も始めているが、法定団体なので発言は慎重に。
 - ・ ツイッターでは横須賀支部の小山理事がやっているラジオの情報発信もしている
 - ・ 実際に動画編集をやってみたことがあるが、時間や手間がかかりすぎる。
普段の業務もあるため、動画編集を外注せず自分たちだけでやるのは相当大変。
今のところ青年の作る動画コンテンツはお金儲け目的ではない。GIF 動画やパラパラ動画で構わないので、内容が伝わるものを作成して青年部会として上げていくのがいいかもしれない。

3. 来年度事業について
 - ・ TTT (保育園) は現時点では無理に開催するのは難しいと判断。
リアルでないと伝わらない部分もあるため、次年度以降の社会的状況を見て判断する。
(いったん企画は取りやめる)
 - ・ ブロック支部委員会の新規設立事務所講習会に出向き、青年部会の紹介・勧誘をさせていただく。
(次回 2021/2 月開催予定)
 - ・ 事務所の申請・変更手続き時に手に取って見られるよう、青年部会のフライヤーをつくる。
事務所協会のパンフレットと一緒に渡す。
名刺やカードの作成も視野。製作は菅股委員が担当。
フライヤー製作のためのキーワードやテーマ等を年内に全委員が LINE で提出する。
 - ・ 若手事務所支援のための業務支援委員会コラボ企画に取り組む。(改修技術の深掘り動画作成など)
改修の経験を積むと、新築案件で気を付けるべきポイントがわかってくる。
また、一部で内輪で盛り上がるようなコンテンツがあってもよいのでは？ (委員の子供が出てくる等)。
→たとえば二部制にして、一部は業務支援委員会主導、二部は二次会のような形で青年が担当するのもよい
 - ・ 来年度の委員長等、人事について
次回委員長は有泉委員長代行が有力？

4. 来年度予算について
 - ・ フライヤー、カード印刷代を予算計上する。
 - ・ 会議費は基本 Web 想定で交通費ゼロ円
 - ・ コンテンツ制作に必要な機材は本会で集めている模様。

5. その他

- ・ コロナ禍を乗り越えていくために、周りの会員とも支えあっていくのが大切。
- ・ 若い世代にも門戸を開いていきたい思いが行政にもあるようだが、公共工事等の案件が若い世代になかなか伝わりにくい。
- ・ 事業承継はやはり難しい部分がある
- ・ 年内に今後の動きについて意見や素材を出し合う
- ・ 次回委員会日程は、**Web** 会議で1月下旬を予定。(日程調整は1月中旬ごろに行う)

以上